

# Handsome

## CONTENTS ◆1月新春例会「賀詞交歓会」開催 ◆特集シリーズ 中央会スペシャル

●45周年実行委員会各部紹介 ●委員会紹介 ●厄落としの会 ●新入会員アトラクション誕生ストーリー ●会長連載[Spur]

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 秋里武信 ◆編集責任者/担当 副会長 権田和志 ◆制作・編集 第44期広報委員会/委員長 恵比木 健

## 新年の幕開け・1月新年例会『賀詞交歓会』開催



平成31年1月15日、西部青年中央会年初恒例の新年賀詞交歓会が、多数のご来賓、OB会員ご列席の元、ANAクラウンプラザホテル米子にて盛大に開催された。

冒頭の会長挨拶にて、秋里武信会長から、まずご来賓・OB会員への感謝を述べられた後、第44期西部青年中央会の上半期の活動について、各委員会の紹介も交えた報告と、45周年記念事業を見据えた活動並びに諸先輩方へのご協力のお願い、そして、第4回大山お地蔵さまフェスティバルを始めとした下半期の当会さらなる飛躍についての意気込みを語られた。

続き、1月入会となった木嶋雄亮会員(住友生命保険相互会社・境港支部長)へ会員バッジが授与され、木嶋会員は自己研鑽と地域への社会貢献を活動の目標にしたいと挨拶された。

その後、ご来賓を代表し、赤沢亮正衆議院議員、平井伸治鳥取県知事、土井一郎OB会長よりご祝辞を賜り、参加者一同の掛け声に合わせ鏡開きが行われた。そして、伊木隆司米子市長のご発声で乾杯が行われ、賀詞交歓会が開幕した。

ご来賓とOB会員、現役会員の間に盛んに交流が行われる中、第44期の活動紹介と報告が行われ、堀尾裕之県出向専務理事が、濱

田修県会長の代理として、主幹としての県での活動報告を、足立駿委員長が45周年記念事業の活動報告とご来賓・OB会員への協力依頼を、山内正樹委員長が第4回お地蔵さまフェスティバルの紹介をそれぞれ壇上にて行った。

賀詞交歓会に華を添えるアトラクションでは、日本政府公認のピアノ演奏者である森本美帆様によるピアノリサイタルが行われた。美しい衣装と落ち着いたピアノの調は、例年行われている太鼓や舞といった勢い・迫力のある伝統芸能とはまた異なる趣で、会場全体が華やかな雰囲気に包まれた。

そして恒例となっている新入会員アトラクションは、ハンドベルの演奏であった。揃いの衣装を身に付け整列した新入会員達が、音階の分かれた両手のベルの組み合わせで巧みに曲を演奏する姿は、こちらも例年行われていたダンスなどの目を引く派手なアクションを伴うものではないにも関わらず、中央会らしい団結を感じさせるに十分なアトラクションであり、ベルの落ち着いた音色に会場全体が終始聞き入っていた。

最後に、中村勝治境港市市長が乾杯にて中締めとされ、盛況のまま1月例会は閉幕となった。  
(記事:石田)



### 1月新年例会を終えて

足立 駿 (足立ふとん店米子店 店長)



先日、開催いたしました1月新年例会が盛大に開催できましたこと、まずもって御礼申し上げます。ご来賓12名、OB会員51名の皆様方に花を添えていただき、誠にありがとうございました。そして、現役会員の皆様、皆様がホスト役となりご来賓、OB会員の皆様方と交流を図る姿が多々見受けられ非常に有意義な時間になったのではないかと感じております。ありがとうございました。また昨年の10月より練習を開始し、年末年始の忙しい中、練習に練習を重ねて、ハンドベル演奏を大成功に収めてくれた新入会員の皆様、本当にありがとうございました。総務としての担当事業は昨年7月以来、2度目となりますが皆様の協力あってこそ大盛会だったと、改めて感じております。

この後には45周年事業・総会と担当事業を残しております。期首より休むまもなく走り続けてきた総務・45周年記念事業委員会メンバーの皆様、ありがとうございました。後半戦もこれまで以上に突っ走りますのでお付き合いください!



File.04

## 『青経連の起こりと発展』

～ “生き字引” の大先輩からのドキュメント～

企画構成 上村(リーダー)、石井、石原、青戸、濱田

西部青年中央会は、会独自の活動のほかに、他の経済団体との連携も毎年継続して行っています。鳥取県西部地域を発展させていくための活動である、鳥取県西部地区青年経済団体 連絡協議会(青経連)がいつ、誰を中心として、どのように始まってきたのか。そしてその後どう発展して行ったのか?我々は「生き字引」「ミスター中央会」などと称される木山三郎OB(第13期ご卒会)を尋ねて、青経連の歴史を伺ってきました。「我々の熱い活動は、ここに原点があったのだ!」という発見の記録をご覧ください。

### 第13期 木山三郎OB

#### 一青経連のはじまりについて教えてください

青経連が始められた8期当時、米子JCの会員交流委員会の委員長だったのかな?尾沢三夫さん(当会OB、当時は米子JC所属)が、委員会活動として事務局に話を持ってきたのが始まりなんです。青年中央会と米子JC、米子商工会議所青年部、3つの団体の代表者数名が集まって、初回は話し合いをしたと思います。岡田瑞会長と副会長だった私で出席し、当時の米子商工会議所青年部の会長は上田博久さん(米子青果 代表取締役)でした。

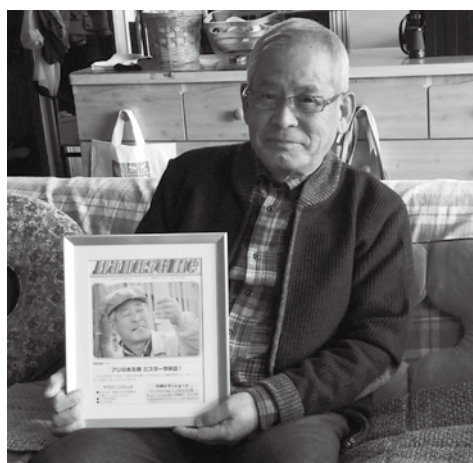
#### 一そこからどのように発展していったんでしょうか

そのときに、この場で終わるのはもったいない、会員を集めて何かしようという話になったんです。年に1回、ソフトボールやボウリングなど、まずは遊びからはじめていかないと難しいですからね。中央会は事業をすることを得意としていたし、野球部もあったから声をかけて、彦名小学校グラウンドでソフトボール大会をしたのを覚えています。そして少しずつ人数が増えていきました。当時は一つずつの呼びかけでしたが、今のように会員全員に声をかけることは良いことだと思いますよ。しばらくして、境港JCにも声をかけて入ってもらいました。青経連事業には予算も何もついていなかったの、事業の景品は銘々の企業から出してもらったり、いろいろ計画しましたね。

私は副会長の立場で、とっかかりをこさえたのですが、「楽しそうだからやってみよう!面倒なことは後から考えれば良い」という気持ちでやっていました。アパウトでも、頼むといたらなんだかんだと自然に集まってくれる、それが中央会らしさだと思います。例会にしても、同年代の100人と一斉に会えることなんてないし、私は楽しみに喜んで行っていましたよ。

#### 一これからの青経連の活動へのヒント・アドバイスをお願いします

「何かあったらお互いに声を掛け合って協力していこうよ」というのが始めた意図なので、特にこうなってほしい、成果を上げてほしいということはないけれど、これからも交流が続いていくと良いですね。36年間、こうして続いてきたことに意味があるし、中央会だけでなく、4団体が力をあわせたらもっと大きなこともできると思います。



#### 過去10年の青経連事業

- 今年度 ボウリング大会
- H29年度 講演会「新幹線が拓く鳥取県西部の未来」講師:京都大学大学院工学研究科 藤井 聡 教授
- H28年度 フットサル大会
- H27年度 講演会「地方創生の現状と今後について」講師:石破茂内閣府特命担当大臣(地方創生担当大臣)
- H26年度 がいな縄飛び選手権
- H25年度 スポーツ交流会
- H24年度 チャリティボウリング大会
- H23年度 地域防災フォーラム
- H22年度 鳥取から日本を考える公開討論会 パネリスト:岩永尚之氏(共産党)、坂野真理氏(民主党)、浜田和幸氏(自民党)
- H21年度 東山公園内の競技場改修及びその周辺施設の改善を要望する署名活動
- H20年度 韓国アウトバウンド講演会『「相互理解」と「相互交流」に向けた交際交流』講師:山陰国際交流連絡会 会長 田村健介氏

#### 取材を終えて

36年前に遡る、青経連の始まりとその後の発展の歴史を知ることができました。卒会后20年もの長きに渡って、OB会の事務局を務められた、さすが中央会の生き字引と呼ばれるミスター中央会 木山三郎OB! 突然の訪問にも快く対応いただいたり、その他のエピソードも交えてわかりやすくお伝えいただきました。何よりもその笑顔が印象に残りました。

青経連のきっかけは一部の交流だったものが、今では4団体で行う毎年の事業として定着しています。なかったものを形にすることは大変な苦労だったと思います。OBはその交流を楽しく有意義なものとして継続されてきたんですね。他団体と比較してみると、それぞれ会の成り立ちや歴史などは異なります。ただ、同じ鳥取県西部に基礎を置く青年経済団体として、人口減少やグローバル化への対応など、同じ地に根ざすもの同士で共通のテーマを持っていると言えます。36年の歴史を経て、青経連だけでなく今の他団体との交流事業はどうでしょうか。皆さんの参加意識はどうでしょうか。同じ地区で活動する同世代、もっと行き来をして交流を深めることはできないかと考えました。例えば、トライアスロンのボランティア、米子JCのがいな祭りや青年部の米子マルシェ、境港JCのみなど祭の運営ボランティアへの参加など、各団体の事業、或いは各団体が携わる事業に互いにもっと関わっていけば、交流も深まり、一団体ではできないもっと大きなことが生み出せるのではないのでしょうか。

(記事:石井)



# 45周年実行委員会 記念ゴルフ部 紹介

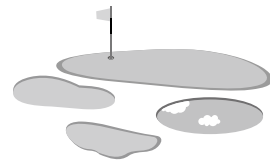
記念ゴルフ部 部長 堀尾 一仁 (株堀尾建築設計事務所 専務取締役)



45周年記念事業実行委員会、記念ゴルフ部の部長を拝命いたしました堀尾一仁です。鳥取県西部中小企業青年中央会は今年の7月で創立45周年という節目を迎えます。これまで諸先輩方が積み重ねてきた歴史を振り返りながらも、次の50周年と未来へつなぐ良い節目とするため、OB会員や日頃お世話になっている関係各所の皆様をお迎えし、記念ゴルフコンペを開催いたします。多くの皆様にご参加いただき、スポーツを通して懇親を深めることで当会の45周年を盛りあげていきたいと考えております。OB会員、関係各所の皆様には、ご案内とお声掛けをさせていただきますので、お誘いあわせのうえご参加くださいますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

## 鳥取県西部中小企業青年中央会45周年記念事業ゴルフコンペ

- 日 時：2019年4月20日(土) 第一組 08:00 スタート
- 場 所：大山平原ゴルフクラブ
- 表彰式・懇親会：スマイルホテル米子 (18:00~20:00)



### 「卒会者便り」

卒会までいよいよカウントダウンとなりました。ハンサム原稿「卒会者便り」卒会を振り返っての記事依頼があり、卒会を実感して少し寂しくなりました。



当時の所属企業から交代会員ということで中央会へ入会させて頂きました。当時入会したばかりの頃は、何もわからず先輩方に迷惑ばかり掛けていました。嬉しかったことも沢山ありました。大変だったことも沢山ありました。色々なことが沢山ありました。委員長も経験をさせて頂きました。委員長を務めた一年間は自分のダメな部分に気づかされました。でも、この気づきが大事なことだと思います。出席率が良かったとはいえませんが自分なりに得るものがあったと思います。会員の皆さん、仕事が忙しく中央会活動大変だと思いますが異業種の会員とも仲間になれ人間の幅が広がると思います。頑張って中央会での思い出を作ってください。

長いようで短かった中央会活動でした。卒会してからもお付き合いのほど宜しくお願い致します。本当にありがとうございました。

From 本田 繁 (東京印刷機 営業)

### 委員会活動紹介

2月例会テーマは「人口減少」  
ビジネス経営委員会

副委員長 向井 幸紀

(株鳥取銀行 次長)



「貢献意識を持って学び・発信する」を活動テーマとして、中央会の仲間や、取引先など関わる全ての方々へ貢献するために、ビジネスの発展に繋がることを学んで発信していく活動を行っています。9月例会では、異業種の財務諸表をテーマにして手作り例会を行いました。難しいテーマでありながら、楽しんで解りやすく伝えることを意識しました。そして、2月例会では「人口減少」をテーマに、人口減少がビジネスに与える具体的な影響や、その中で如何にして生き残っていくかという内容を発信する予定です。難しいテーマを選定しましたが、参加いただく会員の皆様が危機感を共有し、未来に向かって前向きに戦略を考えるきっかけにしたいと思い、委員会メンバー全員で、とことん意見を出し合いながら作りこんでいます。これからも秋里会長が活動テーマに掲げられた「貪欲に学ぶ」を体現し、委員会メンバー全員が成長できる委員会活動をしていきたいと思っています。

## 厄落としの会



平成31年1月19日(土)勝田神社にて、青年中央会の伝統行事となった「厄落としの会」が開催されました。今年は、後厄に浜浦会員、堀尾(一)会員、濱会員、柏木会員、明穂会員、古都會員、山口監事、

本厄に本記事担当の宇佐見、前厄に白井会員、奥森県出向監事、小谷副委員長の計11名にて参加しました。大寒を翌日に控えているとは思えない穏やかな天候の中、本殿にて災厄を避けるお祓いをし、健康と無事安泰のご祈禱を受け、厄除けの御札、御守、とともに霊力が宿っているとされる御神酒、御饌米を受け取りました。

その後、「炭火居酒屋わかや」に場所を移し、堀尾(一)会員による乾杯で懇親会が始まり、同世代ならではの話題に花が咲き、御神酒を飲み干してしまうほど大いに盛り上がり、「厄落としの会」は無事終わりました。御饌米は、各家庭で炊飯時に一緒に入れて食べ、ご家族も含め本年の健康を祈りました。

(記事:宇佐見)

## 四十の手習い ~貪欲に学ぶ~

浜浦 敬昌 (株さんれいフーズ 海外事業課 課長)

何かこれをしよう・したいと思っても、日々の業務、やらなくてはならない事・・・仕事や作業に追われる身となりこれといって自己啓発や趣味に没頭する時間が取れず「何やってんだかなあ」と感じる日々です。

そんな中、この所、休日に最も時間を割いているのが息子の「学童野球」です。自身も30年前に所属したチーム・グラウンドで現在は息子が野球に没頭しています(半ば強制的に私が始めさせたものではありません)。当然、親である私ものめり込み・・・

今年子供も最上級生となり私もチーム代表として団運営を行う立場となりました。これが想像以上に考える事が多く時間を割かれる要因に・・・「たかが少年野球」と頭では考え、口では言いつつも、一つの組織を同じベクトルに向ける事は最大の課題であり目標です(選手・指導者・保護者)。これは仕事と同じ事でしょう。

メリハリを付け、仕事も中央会も学童野球にも挑み、やり切った1年としたいものです。



会長連載

# Spur ~シュプール~

第44期 会長 秋里武信

# 軌跡

昨年、1300年祭で盛り上がった大山も待望の雪が降り、ウインターシーズン到来でスキー場も賑わって参りました。シュプールという名の連載ですので、今回はスキーのお話を少々…。

仕事の傍ら、冬場はスキー指導者として選手の育成に携わっているのですが、その選手達を集めシーズン初めに必ずやる必要があります。それは、当然ながら目標設定なのですが、個々に思い描いてもらうのではなく、言葉に発し選手同士で共有してもらうという事です。

はじめは何気にも聞いてみただけだったのですが、気が付けば個人競技のライバル同士がアドバイスし合いながら練習するようになり、また、鳥取県チームとして一体感が生まれ、大会中でも互いに励まし合い、わずか8名の弱小チームも徐々にレベルが上がってきています。

『言葉に発する…』単純な事なのですが、意外な化学反応が起こります。



## Just Married!

小坂泰彦 (尙はなや 取締役)

入会から約2年、ようやくこのご報告ができる日がやってきました！昨年11月1日に婚姻届を提出し、私、小坂泰彦は晴れて結婚いたしましたことを皆様にご報告させていただきます。12月には親族の見守り中、結婚式も挙げさせていただき、慌ただしかった新婚生活も今ようやく一息ついているところです。

2年前の新年例会の懇親会の場、当時新入会員だった私は自己紹介で「1年以内に結婚してみせます！良い方がいたら紹介お願いします！（注：もちろんその時点で結婚予定は皆無）」と挨拶させてもらったことを今でも思い出します。それ以来、「最近どうなってるの？」と多くの会員から声をかけて頂き、本当に感謝しています。

前期の委員会では、懇親会にて「小坂タイム」と称し、様々な出会いと別れ、最後はプロポーズシーンの再現まで婚活模様の一部始終をその都度報告させていただきました(笑)。その中で色々な悩みも聞いて頂き、私の婚活は中央会と共にあったと言っても過言ではないと思います。2年かかりましたが、なんとかゴールまで辿り着けました。ゴールは新たなスタートの始まり。仕事に家庭に、実直にがんばっていきます！



## 新入会員アトラクション 誕生ストーリー

徳中太慈 (新入会員アトラクションリーダー)(大連 店長)

総務・45周年記念事業委員会の徳中太慈です。10月から約3ヶ月間、新入会員アトラクションのリーダーとして活動させて頂きました。今回、ハンドベルを選んだ理由は、一緒に演奏する相手のことを思いやり、協力し合うことによって、使命感や協調性を学び育めるのではないかと思います、新入会員アトラクションにふさわしいと感じたからです。

メンバー各々が仕事や家庭がある中で、練習のために時間を作

り全員が集まることは本当に大変でしたが、本番では、私たちの思いを乗せた天使の音色が皆さんの心に届くよう心を込めて、井上陽水の「少年時代」、新春のお祝いも込めて長洲剛の「乾杯」を精一杯演奏しました。ハンドベルの演奏は、一人で演奏することができず、一人でも欠けると絶対に成功しないものでした。全員が本気で取り組んだからこそアトラクションが終わったあと、多くの反響がありました。このメンバーで練習する時間がなくなって寂しい気持ちもありますが、みんなで頑張ってやりきった充実感でいっぱいです。

この度のアトラクションを通じて、1つのことを成功させる難しさと楽しさを学びました。この経験を今後の中央会活動や仕事に役立てて行きます。ハンドベル「クレエ」の木村啓子先生、同期の仲間、先輩会員の皆さんに支えられ、本当に良い時間を過ごさせてもらい貴重な経験をさせて頂きありがとうございました！



## お誕生おめでとう



### 濱田 悠太くん 濱田 修典会長

(株ホクシン 代表取締役社長)

昨年11月29日17時41分に3,512gの大きな男の子が誕生しました。名前は悠太と書いて「はると」と読みます。うちの家系の特徴なのか手足が大きく、体の作りがどっしりと力強い感じです。健やかに育ってほしいと思います。

## 2月役員会報告

平成31年2月1日(金) 米子市文化ホール研修室1にて2月役員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

- ・新年例会開催の件
- ・2月例会開催の件
- ・お地蔵さまプロジェクトの件
- ・3月例会開催の件
- ・45周年記念事業の件

※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

## 編集後記

平成最後の年の初めに制作が始まった新シリーズ。一発目としての青経連特集、いかがだったでしょうか？暖冬とは言えインフルエンザにかかったり鼻声になるチーム員が出るなか、厳しい納期を乗り切ったのは皆さんの頑張りのおかげである。Mちゃん、二人つきりで飲みに行かないか。  
(“渡り鳥”上村)

## 〈新入会員〉

(総務45周年記念事業委員会)

**木嶋 雄亮** B型  
住友生命保険相互会社 新境港支部長  
生命保険業・損害保険業  
〒684-0031 境港市湊町71  
TEL 44-0678 FAX 42-2997  
(KT) 080-6326-5818  
(EM) ky9999@icloud.com

H31.1 (H30年度)入会  
(推薦者) 足立(駿) 山内(正)

S60.09生

〈コメント〉住友生命保険相互会社の唱和に「使命感をもって保険の大切さを伝え、最適な保障を提案します」とあります。第44期スローガンであります、「使命感」をもって地域社会の貢献活動で自身の成長が出来るよう頑張ります。